

称

シヨウ

10画 千禾秝秝秝秝



なりたち 旧字体は稱。天秤(てんびん)に手を掛けた形(かたち)の再(し)と、禾(のぎへん)との会意(かいい)形声(けいせい)字。稲(いな)を天秤(てんびん)に掛けて「計(はかり)る」ことを表(あらわ)した字。また、「秤(はかり)は稱(しょう)の俗字(じやくじ)で正(ただ)しくは稱(しょう)と音(ね)同(おな)音(ね)。また、「唱(うた)える」・賞(ほめる)の意(い)味(み)にも用(もち)いる。

いみじゆくい
 ▼計(はかり)る。
 ▼唱(うた)える。呼(よ)ぶ。
 称号(しょうごう)：①呼(よ)び名(な)。用(よう)例(れい) 弥陀(だいた)の称号(しょうごう)を唱(うた)える。②資(し)格(かく)などを表(あらわ)す名(な)前(まえ)。肩(かた)書き。
用(よう)例(れい) 博士(はくし)の称号(しょうごう)。
 名称(めいしょう)：呼(よ)び名(な)。名(な)前(まえ)。
 自称(じこしょう)：①自(じ)分(ぶん)のこ(こ)を自(じ)分(ぶん)で何(なに)々(ず)々(ず)だと言(い)うこと。例(れい) 自称(じこしょう) 天才(てんさい) ②文(ぶん)法(ぽう)で、第(だ)一(いつ)人(にん)称(しょう) 例(れい) 自称(じこしょう) 代(だい)名(めい)詞(じ) (私(わが)・僕(ぼく)など)。
 愛(あい)称(しょう)：親(おや)しい人(ひと)を、親(おや)愛(あい)の情(じやう)を込(こ)めて呼(よ)ぶ名(な)前(まえ)。あだ名(な)を含(こ)む。
 美(び)称(しょう)：ほめて呼(よ)ぶ呼(よ)び方(かた)。
 敬(けい)称(しょう)：敬(けい)意(い)を表(あらわ)す呼(よ)び方(かた)。「様(さま)・先生(せんせい)」など。
 ▼ほめる。
 称(しょう)賛(さん)：ほめたたえること。
 称(しょう)揚(やう)：ほめ揚(た)げること。
よみかた 称(しょう)名(めい)・仮(か)称(しょう)・詐(さ)称(しょう)

称稿

稿

コウ

15画 禾秝秝稿稿稿



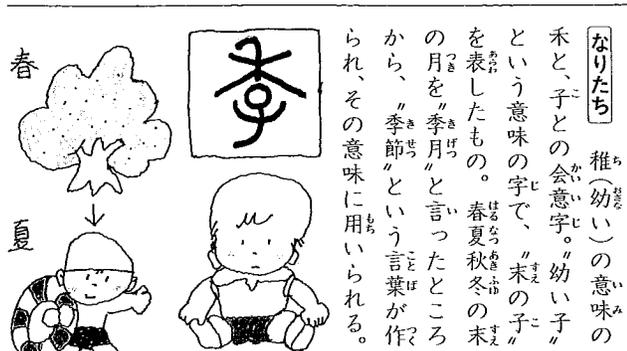
なりたち 藁(わら) (枯(か)れる)の意(い)味(み)の高(たか)と、禾(のぎへん)との会(かい)意(い)形(けい)声(せい)字。枯(か)れた藁(わら)と意(い)味(み)の字(じ)で「稗(はい) (稿(こう)の茎(かき)を)表(あらわ)したも(も)の。転(てん)じて、文(ぶん)書(しょ)の「下(した)書(か)き」の意(い)味(み)を表(あらわ)す。

いみじゆくい
 ▼わら。
 ▼文(ぶん)書(しょ)の「下(した)書(か)き」。
 原(げん)稿(こう)：印(いん)刷(さつ)物(ぶつ)や口(く)頭(とう)発(はつ)表(ひょう)のたの「下(した)書(か)き」。例(れい) 原(げん)稿(こう)用(よう)紙(し)。
 草(そう)稿(こう)：下(した)書(か)き。原(げん)稿(こう)。
 寄(き)稿(こう)：原(げん)稿(こう)を新(しん)聞(ぶん)や雑(ざつ)誌(し)など(に)載(の)せるよ(よ)うに送(おく)るこ(こ)と。
 また、その原(げん)稿(こう) 投(とう)稿(こう)。
用(よう)例(れい) 雑(ざつ)誌(し)に寄(き)稿(こう)する。
 起(き)稿(こう)：原(げん)稿(こう)を写(か)き始(はじ)めるこ(こ)と。
反(はん)脱(だつ)稿(こう)
 脱(だつ)稿(こう)：原(げん)稿(こう)を写(か)き終(お)えるこ(こ)と。
反(はん)起(き)稿(こう) 用(よう)例(れい) 三(さん)年(ねん)か(か)つてよ(よ)うやく脱(だつ)稿(こう)する。
 玉(ぎよ)稿(こう)：他(た)人(にん)の原(げん)稿(こう)を敬(やう)つて言(い)う言(げん)葉(えつ)。
 遺(い)稿(こう)：未(み)発(はつ)表(ひょう)のまま死(し)後(ご)にのこされた原(げん)稿(こう)。用(よう)例(れい) 遺(い)稿(こう)をまとめる。
 稿(こう)本(ほん)：原(げん)稿(こう)本(ほん)。草(そう)稿(こう)の段(だん)階(かい)で世(よ)間(かん)に広(ひろ)められた本(ほん)。
 稿(こう)料(りょう)：原(げん)稿(こう)料(りょう)。

季

キ

8画 一 二 千 禾 季 季



なりたち 稚(ち)幼(じゆう)の意(い)味(み)の禾(こ)と、子(こ)との会(かい)意(い)字(じ)。幼(じゆう)い子(こ)という意(い)味(み)の字(じ)で、「末(すえ)の子(こ)を表(あらわ)したも(も)の。春(はる)夏(なつ)秋(あき)冬(ふゆ)の月(つき)を「季(き)月(げつ)」と言(い)ったこ(こ)ろから、「季(き)節(せつ)」という言(げん)葉(えつ)が作(つく)られ、その意(い)味(み)に用(もち)いられる。

いみじゆくい
 ▼未(み)つ子(こ)。幼(じゆう)い。若(わか)い。
 ▼終(は)わり。末(すえ)の世(よ)。
 ▼四(よ)季(き)の終(は)わり。月(つき)。
 季(き)春(はる)：春(はる)の終(は)わり。月(つき)。晚(ばん)春(はる) 陰(いん)暦(れき)の三(さん)月(げつ)。
 節(せつ)季(き)：①季(き)月(げつ)。四(よ)季(き)の終(は)わり。月(つき)。特(とく)に一年(いちねん)の終(は)わり。月(つき)。②商(しょう)店(てん)の決(けつ)算(ざん)期(き)の、盆(ぼん)と暮(く)れ。
 ▼四(よ)季(き)。シ一(し)ーズン。
 四(よ)季(き)：春(はる)夏(なつ)秋(あき)冬(ふゆ)の四(よ)つ季(き)節(せつ)。
 ▼ある一定(いてい)の期(き)間(かん)。
 雨(あめ)季(き)：一(いち)年(ねん)のう(う)ち、特(とく)に雨(あめ)の多(おほ)い期(き)間(かん)。
 ▼俳(はい)句(く)で、その句(く)の季(き)節(せつ)を示(し)す言(げん)葉(えつ)。
よみかた 季(き)刊(かん)・季(き)感(かん)・季(き)語(ご)・季(き)候(こう)・季(き)節(せつ)風(ふう)・季(き)題(だい)・秋(あき)季(き)

委

イ

8画 一 二 千 禾 委 委



なりたち 稲(いな)を表(あらわ)した禾(こ)と、女(め)との会(かい)意(い)形(けい)声(せい)字。稲(いな)穂(ほ)が風(かぜ)に、女(め)性(せい)が男(おとこ)性(せい)に從(したが)うよ(よ)うに「從(したが)う」こ(こ)と、「任(まか)せる」こ(こ)とを合(あ)した字(じ)。また、「事(こと)細(こま)かに行(い)き届(とど)く」意(い)味(み)に用(もち)いられる。

いみじゆくい
 ▼任(まか)せる。ゆだねる。
 委(い)任(にん)：ある事(こと)を他(た)人(にん)に任(まか)せてし(し)てもら(もら)うこ(こ)と。例(れい) 委(い)任(にん)状(じやう) 委(い)託(たく)：すつかり人(にん)に任(まか)せて頼(たの)むこ(こ)と。例(れい) 委(い)託(たく)販(はん)売(ばい) 委(い)嘱(しよ)：ある事(こと)を人(にん)に任(まか)せて頼(たの)むこ(こ)と。
 委(い)員(いん)：団(だん)体(たい)など(に)て、選(せん)ばれて団(だん)体(たい)を代(だい)表(ひょう)し特(とく)定(てい)の事(こと)をす(す)る人(にん)。例(れい) 学(がく)級(きゅう)委(い)員(いん) ▼事(こと)細(こま)か。詳(しょう)しい。
 委(い)細(さい)：詳(しょう)しい事(こと)情(じやう)情(じやう)。用(よう)例(れい) 委(い)細(さい) かまわ(ま)ず承(しょう)知(ち)する。
 委(い)曲(きよく)：詳(しょう)しいこ(こ)と。用(よう)例(れい) 委(い)曲(きよく) を尽(つく)す。
 ▼捨(す)てる。ほう(ほう)つてお(おく)く。
 委(い)棄(き)：①ほう(ほう)つてお(おく)こ(こ)と。②権(けん)利(り)を放(ほう)棄(き)するこ(こ)と。
 ▼しお(し)れる。衰(おとろ)える。
 委(い)縮(しゆく)：生(なま)き無(な)くなり衰(おとろ)えて縮(しゆく)むこ(こ)と。

季委